

# echo（講義自動収録配信システム）の利用について

## echoとは？

echo（講義自動収録配信システム）とは、講義の映像・音声を自動で収録し、授業後にその受講生に配信するシステムです。**受講生は、CLEからいつでも授業を視聴することができます。**現在、全学教育推進機構の22教室（A104, A201, A202, A212, A301, A302, A312, B107, B108, B118, B207, B208, B218, B307, 大講義室, 豊中総合学館301, 302, 401, 402, 情報教育第2, 4, 5教室）に設置されており、設置教室の入り口には、図1のような掲示があります。



図1 echo教室掲示

## echoの目的は？

echoシステムは、以下のような目的で利用するために設置されています。

1. 授業をあとで復習できる
2. 病気など、やむを得ない理由で講義に出席できなかった場合でも補助的な学習機会が得られる
3. 留学生など講義のスピードについていけない学生にとって、あとで自分のペースで講義を聞き直すことができる

**echoは、対面での授業に置き換わるものではなく、あくまでも対面での授業の学習を補助するためのものです。事後視聴による授業の欠席が正当化されるものではありません。**

## 収録の対象となる講義は？

echoが設置されている教室で開講されている授業が全て収録されているわけではありません。

**echo教室での授業のうち、担当教員が希望した授業のみを収録しています。**また、収録している場合でも、試験前や補講等で回数や期間を限定した形で配信されることもあります。詳しくは担当教員にお問合せください。

## どうやって視聴する？

1. CLEにログインして該当コースを選択します
2. 「コンテンツ」の「講義映像」をクリックします（右図）
3. 視聴したい日付の講義にカーソルを合わせてクリックします
4. 講義映像の視聴やコメントの記入などができます



図3 CLEからechoを視聴

## echoで収録される範囲は？

echoが設置されている各教室では、教室前方の教卓・黒板・スクリーン等がだいたい収まる位置にビデオカメラが設置されています。そのため、**教室によっては、授業時間中にそれらの付近に近づいたり、前方1～2列目に座ったりすると、教室映像に映り込む場合があります**（図2）。なお収録時間は授業開始時刻から終了時刻までですので、前後の休み時間は収録されていません。この映り込みを避けたい場合は、撮影される範囲を避けて移動や着席をしてください。また、質問やディスカッション等の音声も、（特にマイクを利用すると）記録される場合がありますのでご注意ください。もし、収録された映像に個人が特定できる形で撮影されており、その部分の削除を特に希望する場合など、収録に特別の配慮を希望する場合は、担当教員にご相談ください。



図2 echoで収録される範囲

## 誰でも・いつでも・どこでも視聴できる？

### ・ 誰でも視聴できる？

その授業の履修登録をした学生だけしか視聴できません。なお、全ての収録されたものは、「その授業の学習のために視聴することを目的としてアクセスすること」だけが許諾されていますので、（対面の授業と同様に）**担当教員と本学の許可なく無断で記録・複製・配付することは固く禁じています**。そのため、動画は直接ダウンロードはできないようになっていますが、パソコンの画面を動画撮影したり、画面キャプチャソフトを使って動画を記録したり、外部に公開してはいけません。もしそのような行為が判明した場合、学内での処分対象となるばかりでなく、法的に問題となる可能性もありますので、十分留意してください。

### ・ いつでも・どこでも視聴できる？

**学内のネットワークのメンテナンスやキャンパス内の停電等で一時的に視聴できない場合や、機器トラブルで収録自体ができなくなる場合があります**。また、学内ではCALL教室など、一部視聴できない場所もあります。視聴できない場合は、まずネットワークを変える、ブラウザを変える（推奨ブラウザ：IE, FireFox, Chrome）などを試してみてください。